

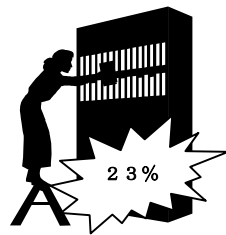
地震時の家具類の転倒・落下防止対策の話です



テレビは飛び、本は舞う

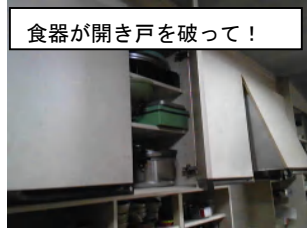
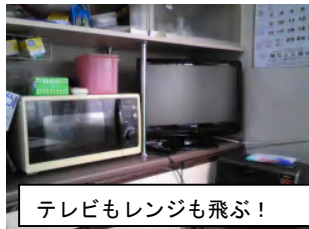
このところ横浜でも震度3の地震が頻発しています。8月の静岡県沖の地震では、本の下敷きで亡くなった方も。昨年の岩手・宮城内陸地震や2年前の新潟県中越沖地震でも、家具類（テレビや本も含む）の転倒・落下によるけが人の割合はそれぞれ45%、41%だけが原因の第一位。でも実際の対応は・・・

家具の転倒防止対策対応済みの割合
(2007年損害管保健機構アンケート)



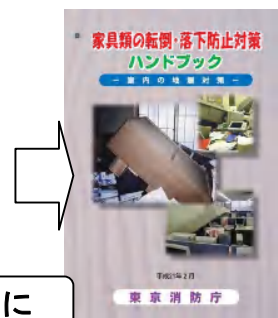
安心できんニャア

ところで家庭防災員の大野家では・・・



上記のアンケートで、固定しない理由では「面倒くさい」が56%で第一位とか。しかし家具の下敷きで、助けを呼ぶなど、恥ずかしいこと???そこで、大野家では対策書を見つけて防止対策をすることとしました。

インターネットの「東京消防庁」のトップページ中から「家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック」を検索し、テキストとしました。インターネット以外では、東京消防庁で閲覧できますが、市販はされていないようです。



次号では、実際の転倒・落下防止対策の実態を写真紹介します。お楽しみに

「いっとき避難場所について」。7月の自治会だよりでご案内した、「いっとき避難場所」、すでに4つの班からご報告いただいております。期限は2010年（来年）9月です。引き続き公園清掃の日などで、班長さん中心にお決めいただきますようお願いいたします。

当ページのお問い合わせ、ご質問は自治会防災・防犯委員会へ：902-7003